

## らくあ、予想を上回る人気です

～市民プール『らくあ』が  
入館者10万人を達成～

2月24日(木)、新しい市民プール『らくあ』（愛称）の入場者が10万人に達しました。

『らくあ』は、健康増進施設として、昨年6月にオープン以来、多目的プールで行われる水中運動教室や流水・歩行プールの利用が好調で、今年3月末までの入館者を7万人と見込んでいた市の予想を大きく上回り、この日早くも10万人に達しました。

ちょうど10万人目の入館者になったのは、毎週、水中運動教室に参加している袋美樹子さん（桜木町）。上野市長から記念品が手渡され、「びっくりしました。これからも健康のためプールに通います」と袋さんは笑顔で話してくれました。



上野市長から記念品を受け取る袋さん（左）

## スキー場で楽しい冬の一日を満喫！ ～2005カルルス温泉冬まつり～



◀雪中みかん拾い

親子ボブスレー大会 ▶



3月6日(日)、カルルス町のサンライバスキー場で、登別の冬を締めくくる『2005カルルス温泉冬まつり』（同実行委員会主催）が開かれました。

まつりには、残り少ない冬の日を楽しもうと、約1,500人の市民や観光客が参加。好天に恵まれた会場では、少年スキー大会や無料スキー講習会、雪中みかん拾い、親子ボブスレー大会、オロフレ雪原宝探しなどの催しが行われました。

まつりは、雪中みかん拾いでスタート。スキー場のゲレンデに置かれたみかんを目指して一生懸命走り、一人で何個ものみかんを手にした参加者の姿も見られました。約100mの斜面をそりに乗って滑走する親子ボブスレー大会には50組100人の親子が出場。コースの途中で、勢い余って転倒する親子もいて、会場から歓声があがっていました。

## 保育所・幼稚園の垣根を越えて ～登別保育所入所児童の保護者説明会～

『登別保育所入所児童の保護者説明会』が2月21日(月)に富浦保育所、22日(火)に婦人センター、24日(木)には登別保育所で開かれました。

登別、登別温泉、富浦の3保育所を統合する新しい登別保育所は現在、登別本町2丁目に建設中で、今年7月1日から開設する予定です。胆振管内初の幼保一元化施設として、学校法人が経営する白雪幼稚園と渡り廊下で連結させ、『年齢』や『保育に欠ける』などの要件で子どもの育ちを区分するこれまでの保育所と幼稚園という垣根を越えて連携・融和し、0歳児から就学前の子どもの保育・教育を適切に進める幼保一体教育を展開します。

3地区での説明会には、入所児童の保護者など合わせて24人が参加。市から0～2歳児保育や一時保育、延長保育、施設の概要、保育・教育内容について説明があった後、質疑応答が行われ、保護者からは送迎バスの始発時間などについての質問が出されていました。



▲登別保育所入所児童の保護者説明会（富浦保育所）